

インフルエンザの予防対策運動

K S T 企画室
財務経理部 総務法務G

近年の冬季にインフルエンザが猛威をふるい、肺炎など重症患者が多く出て社会的な問題となりました。前年に引き続きインフルエンザの流行期を迎え、その予防対策運動をサンシングループ全体で、次のとおり展開いたしますので、周知して下さい。

尚、各グループ会社は、以下の1項(1)(2)を設置し、速やかに実施して下さい。

また、今年からインフルエンザ流行前の予防接種を推奨いたしますので、希望者は予防接種を受けて下さい。

記

1. 予防対策運動

(1) 外出から帰ったら、「手洗い」「うがい」をする。

*サンシングループ社内トイレにうがい薬、紙コップ、ハンドソープを設置する。
のどや手についたインフルエンザウィルスを洗い流す。

(2) 室内の湿度を「加湿器」で保つ。

*各居室に加湿器を設置
インフルエンザウィルスは乾燥した空気の中で長生きするので、湿度を保つ。

(3) 体力をつけ、抵抗力をつける。

*各自で励行して下さい。
栄養のある食事と十分な睡眠をとり、体力と抵抗力をつけると、インフルエンザウィルスに感染しにくくなる。

(4) マスクの着用

*咳がでるときは、社内でマスクを着用。(外出時にマスクを着用すると風邪予防にもなります)

(5) 流行前の予防接種

*流行前の予防接種
インフルエンザワクチンは、罹患した場合の重症化防止に有効とされており、ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度を要することから、毎年12月上旬までにワクチン接種を受けることが望ましい。受診方法については、別紙「インフルエンザ予防接種受診要領」をご覧ください。

2. インフルエンザについて

(1) 種類

インフルエンザウィルスによる感染症で、大きく分けるとA型、B型、C型の3つがあります。世界的な大流行を引き起こすのは、A型です。B型は小流行を繰り返し、C型は比較的軽症なことが多い。日本では、特に12月下旬頃～3月頃に流行します。

(2) 症状

風邪の症状に似ています。インフルエンザウィルスの潜伏期間は1～3日で、突然38～40の高熱を出し、同時に、頭痛、筋肉痛、倦怠感、喉の痛み、咳などの症状が現れます。これらの症状が出た場合、すぐに病院に行って受診して下さい。

以上